

# FMアップルウェーブ 第113回放送番組審議会

開催日時

平成30年12月18日(火) 18:00~18:30

開催場所

土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)

出席委員

委員長 石岡 徹、副委員長 鳴海 清彦  
委員 佐藤 浩之、渋谷 拓弥、高村 智子、大西 晶子、櫻山 史子、佐々木 裕和、鹿内 あかり

会社側出席者

専務取締役:一戸勝美、取締役:倉田 正直  
放送部統括マネージャー:花田由香子、チーフ:玉田 雅規

議題

- (1)番組に対する意見要望
- (2)次回開催日について 2月23日(土)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

## 1) 課題番組

### 『津軽ひろさき歴史文化観光検定中級試験解答速報』

- ① アナウンスの技量がもろに出てしまう。淡々と読み上げていくからこそアナウンス技術が必要になってくる。面白い選択肢があっても、真面目に展開しているのでスルーしている。解説部分はもう少し楽しい雰囲気でもよいのでは。
- ② 冒頭、検定の概要についてしっかり説明をしていたので、たまたま聴いた人も検定に興味を持ってくれるのでは。昼の時間は仕事で聴けない人もいるので、他の時間帯に再放送してもよいのではないか。解説部分が楽しみである。
- ③ 解答を言う前にも「設問○、答えは…」と、設問数を加えたほうが親切。これまで解答速報を聴いたことがなかったが、内容も含め、聴きやすかった。
- ④ 初級に比べてやはり中級は難しい。解答の仕方の工夫で、早口ではあるが聴きやすい。ただ、詰まるところが多いのでアナウンス技術が必要。難しい設問は聴いても疲れるので、楽しい雰囲気を進めてほしい。中級試験に対して、興味が沸いた。
- ⑤ 一定のテンポ、感情を入れずに読む読み方は「解答速報」の性質には合っているため、読みでは囁むことなく、スムーズに読むべき。ご当地検定の周知・訴求になる番組。
- ⑥ 生放送で解答を伝える番組。地域の情報として問題と解答を聴いた。
- ⑦ 年々問題がマニアックなものになっている印象。担当パーソナリティが検定内容の情報を熟知したうえで問題・解答を読むと、聴き手に分かりやすい伝え方ができるのではないか。解説の弘前観光コンベンション協会事務局長の話が、テキスト外の話題にも及んでいたのがよかった。
- ⑧ テンポもよく、聴きやすい。解説者の人柄も出ていて良かった。設問と解答を無機質に読むのは多少仕方がないのかとも感じる。

### 【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載